

資料3

前橋市地域公共交通計画 に基づく取組み状況

R8.6.3前橋市地域公共交通活性化協議会資料

前橋市交通政策課

前橋市地域公共交通計画各施策と取組み状況一覧1

前橋市地域公共交通計画各施策 (R3.6策定) R3.6~R8.3

No	施策	個別施策	R7までの取組み状況
1-1	拠点間を結ぶ公共交通軸の強化・形成	幹線バス路線の明確化	R 5.4北部広域幹線 前橋渋川線 道の駅乗入れ R 4.4前橋玉村線 路線変更等 R 6~7 前橋玉村線の本数充実
1-2		幹線バスの定時性確保	前橋榛東線の経路変更・各路線の時刻表見直し
1-3		鉄軌道間のネットワーク化	~ R6 自動運転バス実証
2-1	各拠点へのアクセス性の向上	公共交通不便地域の解消 (地域内交通の導入)	芳賀地区へののるんるんバスの区域拡大、増車
2-2		鉄道駅や主要バス停における結節強化	-
2-3		JR群馬総社駅西口の開設	基本協定締結・基本設計開始・基本設計実施、東口ロータリー拡張
3-1	公共交通の利便性向上	バリアフリー化	UDタクシー導入 (補助)
3-2		バス待ち環境の快適化	-
3-3		分かりやすい情報案内	R 4.12前橋駅デジタルサイネージ更新 R 4.12新路線番号・系統番号運用開始 ポータルサイトの充実更新、前橋駅北口の情報整理
3-4		バスドライバーのサービス向上	各社対応
3-5		自転車と公共交通を組み合わせた移動の利便性向上	サイクル&バスライドの整備
3-6		利用しやすいバス運賃制度の検討	基礎データの取得 (ODデータ)、高校生世代通学定期奨励金
3-7		交通系ICカードの導入	利用状況データの分析、上電 I Cカード導入
3-8		新技術を活用した交通環境の高度化	(再掲) 自動運転バス実証、MaaS高度化、タクシー配車システム導入 (タクシー事業者)、マイタクの介護タクシー事業者拡大、マイタクの利便性向上(2タッチ)
4-1	まちなかの回遊性の向上	都心幹線の形成	R 4.4~ 本町ライン運行開始
4-2		シェアサイクルの導入 (サイクルポート設置等)	利用状況データの分析 ポートの新設、増設、撤去の検討 利用促進策の検討、コグベの吉岡町への導入
4-3		歩行・自転車利用環境の改善	-
4-4		本町二丁目交差点周辺の改良	-
5-1	都心地域への自動車利用の抑制	パーク&ライド等の推進	(再掲) 前橋渋川線 新道の駅乗入れ
5-2		都心地域の駐車施設の適正化	-
6-1	施策の推進	公共交通の積極的な利用促進	ポータルサイトの充実更新
6-2		市民意識の醸成 (モビリティマネジメント)	公共交通無料デー

- その他・・・働き方改革対応、協議路線の運賃値上、上毛電鉄03系車両導入

前橋市地域公共交通計画各施策と取組み状況一覧2

前橋市地域公共交通計画各施策（R8.3策定）R8.4～R12.3

計画目標	No	個別施策	R8取組み予定
まちなか・市街地を中心とした基幹的交通軸の構築	1	幹線交通「鉄道」の維持・確保に向けた利便性向上の取組	群馬総社駅西口詳細設計、自由通路実施設計
	2	幹線交通及び準幹線交通「路線バス」の位置づけと重点化に向けた再編	イオンモール高崎前橋線の拡充、調整ほか本町ライン維持
	3	中心部循環交通「マイバス」及び支線交通「路線バス」の再編	マイバスの利用実態調査、日赤病院前橋線の増便
	4	ウォークアブルなまちづくりとの連携	パーソナルモビリティ社会実験
郊外部における生活交通の構築	5	デマンド交通の役割とあり方検討	デマンド交通あり方アンケートの実施
	6	タクシー（マイタク制度）の有効活用	マイタクアンケート
	7	新たな公共交通サービスの検討	商業施設を活用したパークアンドライド
利用促進と担い手確保	8	公共交通を利用してもらうための取組	UDタクシー導入（補助）、上電100周年記念イベント、公共交通教室の拡大、改善
	9	使いたくなる運賃施策	
	10	魅せ方と見せ方改革	ポータルサイトの充実更新
	11	運転士等の人材確保に向けた支援	合同説明会の実施、日報システムの改善
公共交通への新たな価値の付加	12	DX事業による公共交通の利用環境の推進	GunMaaSの御当地Suicaへの移行化、基礎データの取得（ODデータ）
	13	公共交通の待ち環境の整備	
	14	他分野との交通サービスの連携	

乗合バス事業の輸送人員の推移

－計画目標 令和12年度に2,772千人を目標－

単位：人



1 まちなか・市街地を中心 とした基幹的交通軸の構築

バス路線再編

28 イオンモール高崎前橋線 準幹線 平日17回→32回

前橋駅⇔本町⇔イオンモール高崎 土日18回→33回

通勤時間帯の運行拡大、運行頻度の増加（1日あたり15本程度増便、日中時間帯の30分間隔化）、商業施設とのP&Rにより利便性を向上を目指す。

25 前橋金古王塚台線 支線 平日14回

前橋駅⇔本町⇔金古王塚台団地ほか 土日12回

他バス路線と運行経路が重複していること、P&Rによるバス停圏を拡げる取り組みにより代替の可能性があることから、運行の見直しについて関係者と協議する。

26 前橋土屋文明線 支線 平日14回

前橋駅⇔本町⇔土屋文明記念文学館 土日12回

他バス路線と運行経路が重複していること、P&Rによるバス停圏を拡げる取り組みにより代替の可能性があることから、運行の見直しについて関係者と協議する。

42 日赤病院前橋線 支線 平日10回→15回

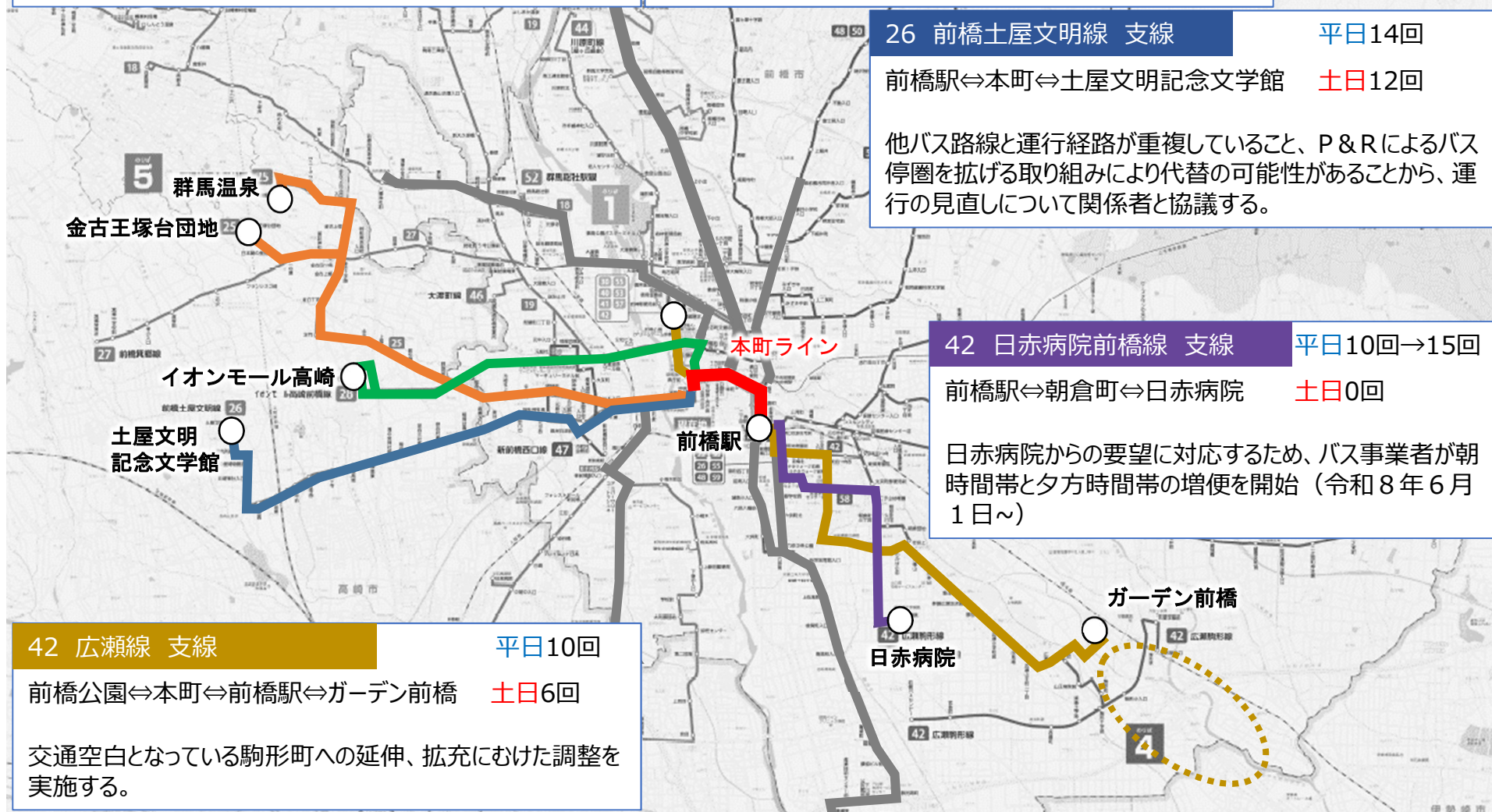
前橋駅⇔朝倉町⇔日赤病院 土日0回

日赤病院からの要望に対応するため、バス事業者が朝時間帯と夕方時間帯の増便を開始（令和8年6月1日～）

42 広瀬線 支線 平日10回

前橋公園⇔本町⇔前橋駅⇔ガーデン前橋 土日6回

交通空白となっている駒形町への延伸、拡充にむけた調整を実施する。



循環系路線（マイバス・新前橋駅西口線）の再編に向けた検討

- ・循環系路線については、導入時から、ほぼ変更しない形で運行を継続してきた。
- ・利用が低迷していることを踏まえ、以下の観点から再編に向けた検討を行う。

循環系路線の基本情報

系統名	運行会社	運行形態	利用者数（R6）	運行開始
東循環	永井運輸	両回り・12便・60分間隔	53,265人	H24.1
西循環	永井運輸	両回り・9便・70分間隔	64,407人	H19.11
南循環	関越交通	右回り・30便・20分間隔	45,513人	H14.6
北循環	関越交通	右回り・30便・20分間隔	37,589人	H14.6
新前橋駅西口線	群馬中央バス	上下12便・約60分間隔	34,556人	H9.9

①人口動態や施設の立地状況などの状況

- ・前橋駅の南側エリア、東地区は増加。北側は減少。
- ・北循環利用者の75%以上が65歳以上。・南循環は各年代に利用されている。

②利用者が求める運行頻度と運行時間

- ・南北循環は、現役世代の求める運行頻度も満たすものの、運行時間が適していない。
- ・ターゲットを明確にした運行頻度や運行時間の検討が必要。

③マイタクとの競合の可能性

- ・マイタクは主に市街地の市民に利用されており、タクシーへの転換も推測される。
- ・入り組んだ路地を走行する必要があるか。

④放射状のバス路線網の補完、路線再編との整合

- ・前橋駅を中心とした放射状の路線の補完
- ・まちなかの回遊性を高めるための見直し

これらに加えて

- ・利用実態の調査
- ・運行事業者の声
- ・他自治体の動向などを踏まえ

再編の方向性を
検討する

■概要

朝晩の通学送迎車両による近隣道路の交通渋滞が課題となっていた。利用者の利便性向上を図るために群馬総社駅東口の南側に位置する市営駐車場の月極契約者を民間の駐車場に斡旋し確保した区画分、ロータリーを広げる土木工事を実施した。

(群馬県：ステーション整備事業補助金を活用)

工事内容

・駐車場入口ゲート移設工事 ・駐車場整備 ・切下工事 ・フェンス設置工事 ・歩道切上、区画線工事



■工事実施後の状況

工事実施後に、利用状況及び近隣道路の渋滞状況について実地調査を実施。停車用の駐車場を増加及び動線を整理したことで、ロータリーと駐車場に分散して収納することで、道路で待つ送迎車が減少。朝晩の交通渋滞の緩和に繋がった。



■概要

- 西口及び東口設計状況
群馬総社駅の西口については基本設計を基に東口と併せて詳細設計を実施予定。
- 自由通路
JR東日本と実施設計協定書の締結後、実施設計を実施予定。
- 用地取得
令和8年度より用地取得開始。



パース図

●眺めに配慮した新たな居場所に
自由通路では上毛の山々や町を眺めることのできる新しい居場所を作ります。

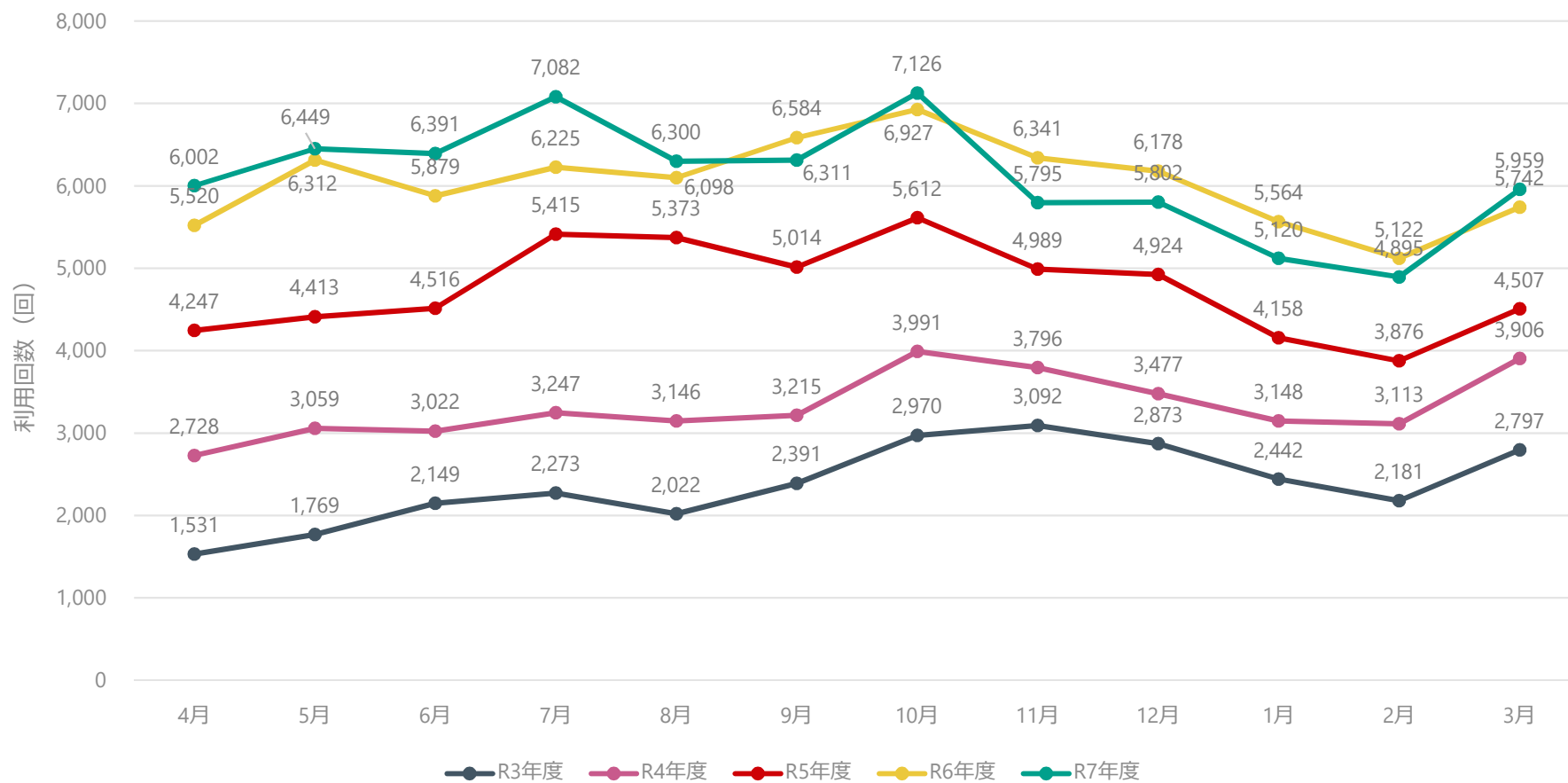
旅客の待合スペースは人々がそれぞれに街に思いを巡らす体感の場となります。

吉岡町との広域連携によりcogbeポートを増設することで、利用可能となるエリアを拡大し、利用者のさらなる利便性向上を目指す。

項目	内容
事業開始	令和8年4月1日
車両台数	10台 ※ブリヂストンサイクル 26インチ
ポート数	4ポート (ジョイホンパーク2、道の駅よしおか温泉1、カインズスーパーセンター前橋吉岡店1)



cogbe利用状況（月別利用回数）



年度	総利用回数	月別最多利用回数	年度	総利用回数	月別最多利用回数
R3年度	28,490回	3,092回(11月)	R6年度	72,492回	6,927回(10月)
R4年度	39,848回	3,991回(10月)	R7年度	73,232回	7,126回(10月)
R5年度	57,044回	5,612回(10月)			

ファースト・ラストワンマイル交通としてのパーソナルモビリティについて、社会受容性の向上や課題及び利点の確認するとともに、前橋クリエイティブシティ構想の実現に向けて試乗体験会を実施する。

小型電動車両
パーソナルモビリティで
まちなかラク体験 DAY
 まちなかを快適に

まちなかをもっと便利に快適に!

まちなかまでは来たものの「買い物をして荷物を持って歩くのが大変」「ちょっとお茶をしたいだけとお店まで歩いていくのが遠いな」「手軽に乗れる楽しい車両に乗ってみたい」そんな経験はないでしょうか?前橋市では、公共交通や自動車でまちなかにお越しになった方が、気軽に乗って荷物を運べるパーソナルモビリティ(小型電動車両)で、目的に沿った乗車体験をしていただける体験DAYをご用意しました。将来は、シェア化やGunMaasとの連携も想定し、まちなかだけでなく、トランジットモールにも活用できると考えられています。

期間 10.25± 10.26日 / 11.29± 11.30日
時間 10:00-15:00 まで
場所 中央通り、立川町通りなど ※受付は中央イベント広場付近
条件 C+walk: 身長140cm~185cm 体重100kg以下(免許不要)
 Lactivo: 16歳以上(免許不要)

※体験人数に限りがあります。

試乗体験会 **参加無料** **子ども謝礼あり**

こんな使い方
 買い物の荷物もラクラク
 荷物の搬入もラクラク
 学生だっぴろーん♪楽しんで!

群馬公共交通システムが促進補助金を活用して、実施しております。

(参考)令和7年度試乗体験会チラシ

【使用車両】 (案)



「LAIL」(特定小型原付) 【愛宕商事、コトブキ】
 「C+walk T」「C+walk S」(電動車椅子) 【トヨタPCN群馬グループ】
 「Lactivo」(特定小型原付) 【株式会社山田製作所】



「e-SNEAKER」(電動車椅子) 【ダイハツ自動車株式会社】
 「WHILL R」(電動車椅子) 【株式会社ホンダカーズ群馬】
 「ストリーモ」(特定小型原付) 【株式会社ホンダカーズ群馬】



クリエイティブシティ構想
 (ウォークアブルなまちづくりを推進)

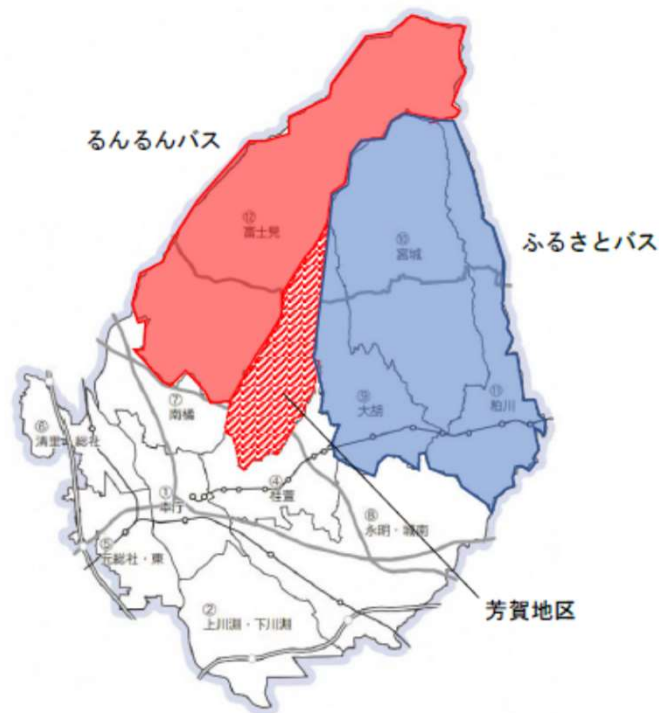
2 郊外部における 生活交通の構築

芳賀地区へのるんるんバスの区域拡大及び増車

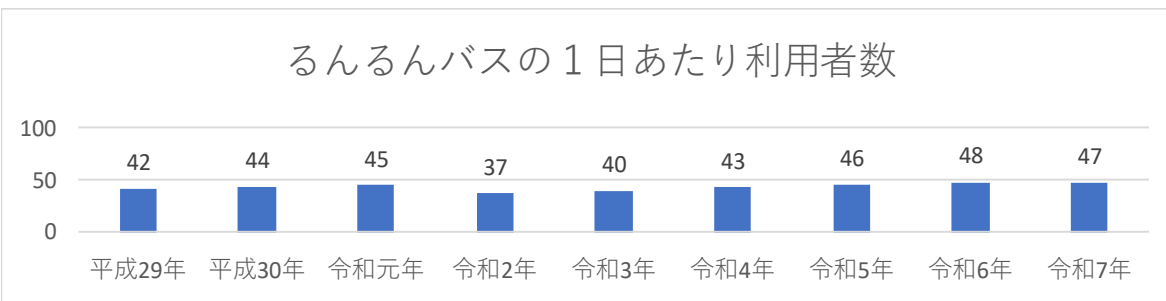
かねてより地域公共交通計画に基づき、芳賀地区への面的な移動手段を地域と検討してきた結果、隣接する富士見地区を運行するデマンドバス（るんるんバス）の区域を令和7年4月1日より芳賀地区へ拡大したもの。また、区域拡大に伴い、予約が取りづらいといった利用者からの意見が多くあったため、運行事業者の関越交通の協力により令和8年4月より運行台数の1台増車を実施。

①変更後のるんるんバス概要

運行事業者	関越交通
運行形態	フルデマンド(時刻・路線非固定、バス停方式)
運行区域	富士見地区、芳賀地区
運行時間	午前8時30分から午後19時まで(毎日運行)
運賃	大人300円、中学生以下150円(前橋市民割引有)
運行車両台数	3台(ほか予備車1台)
乗降場所	富士見地区170箇所、芳賀地区57箇所、地区外5箇所



②利用者推移

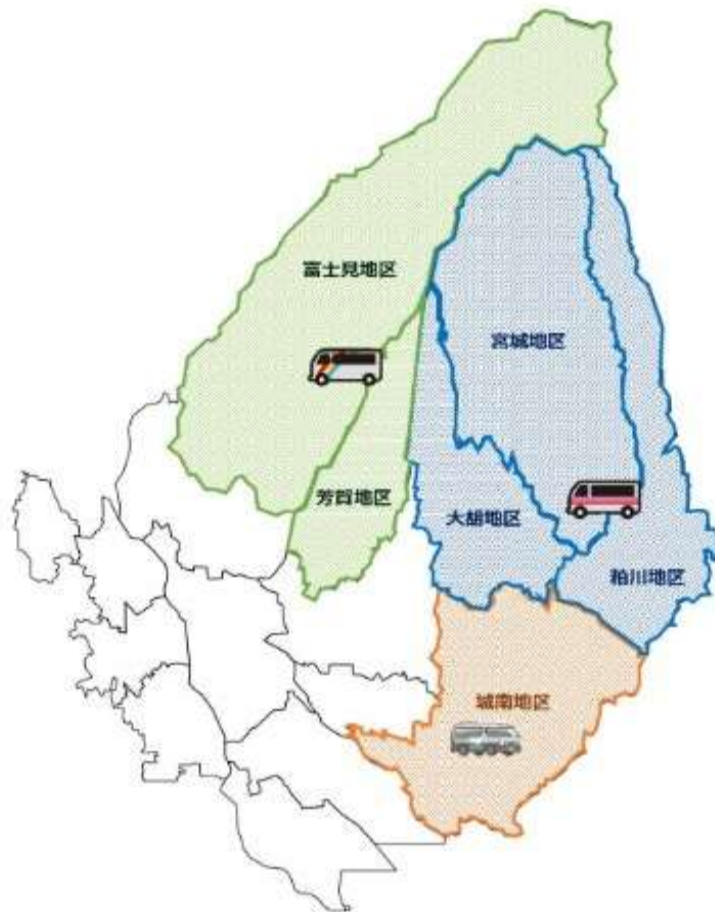


令和7年10月より運賃値上げを実施したことにより、利用者数は微減となっているが、コロナ禍以降は利用者数は増加傾向にある。芳賀地区ではまだデマンド交通が浸透していないと思われるため、引き続き乗り方教室等の利用促進を図る想定。

デマンド交通のあり方アンケートの実施

14

- ・公共交通空白地域の移動手段確保のため、前橋市では「るんるんバス」「ふるさとバス」「城南あおぞら号」の3つのデマンド交通を運行
- ・朝時間帯の特定箇所への予約集中による予約確保の難しさ、予約することへのハードル、定時性に乏しいことによる通勤通学への利用の難しさなどの課題もある。
- ・運行開始時と比較すると、社会情勢が大きく変化し市民のニーズにも変化があることも想定される。
- ・令和8年秋頃にアンケートを実施予定。市民のニーズを把握し、デマンド交通の今後のあるべき姿を検討していく



お客様へご案内

ふるさとバスをご利用いただき
ありがとうございます。
昨今の燃料費や修繕費等の
運行コストの高騰による影響で、
大変心苦しいですが、
10月1日より以下の通り改定いたします。

普通運賃		前橋市民割引	
おとな	子ども	おとな	子ども
300円	150円	200円	100円

※市民割引はwebサービス「GunMaaS」であらかじめ登録が必要です。
※車内では現金のほか、交通系ICカードが使えます。

2025年10月の運賃改定

マイタク（タクシー運賃補助制度）の利用実態や課題を把握するため、利用者を対象にアンケート調査を実施し、今後の事業改善などに活用する



対象者

満75歳以上の方、障害者、要介護・要支援認定者、妊産婦、運転免許証返納者等

支援内容

- ①登録者が01人で乗車した場合
運賃の半額を補助（1回利用で最大1,000円、2回利用で最大2,000円補助）
- ②登録者が2人以上で乗車した場合
1人あたり1回利用で最大500円、2回利用で最大1,000円を補助

利用方法

事前登録したマイナンバーカードをタクシー車載機にタッチ（マイナンバーカード非保有者には紙利用券を発行）

アンケート調査内容

【調査期間】

令和8年6月～7月（予定）

【対象者】

マイタク利用者約2,500人を抽出

【調査方法】

アンケート用紙を郵送

【回答方法】

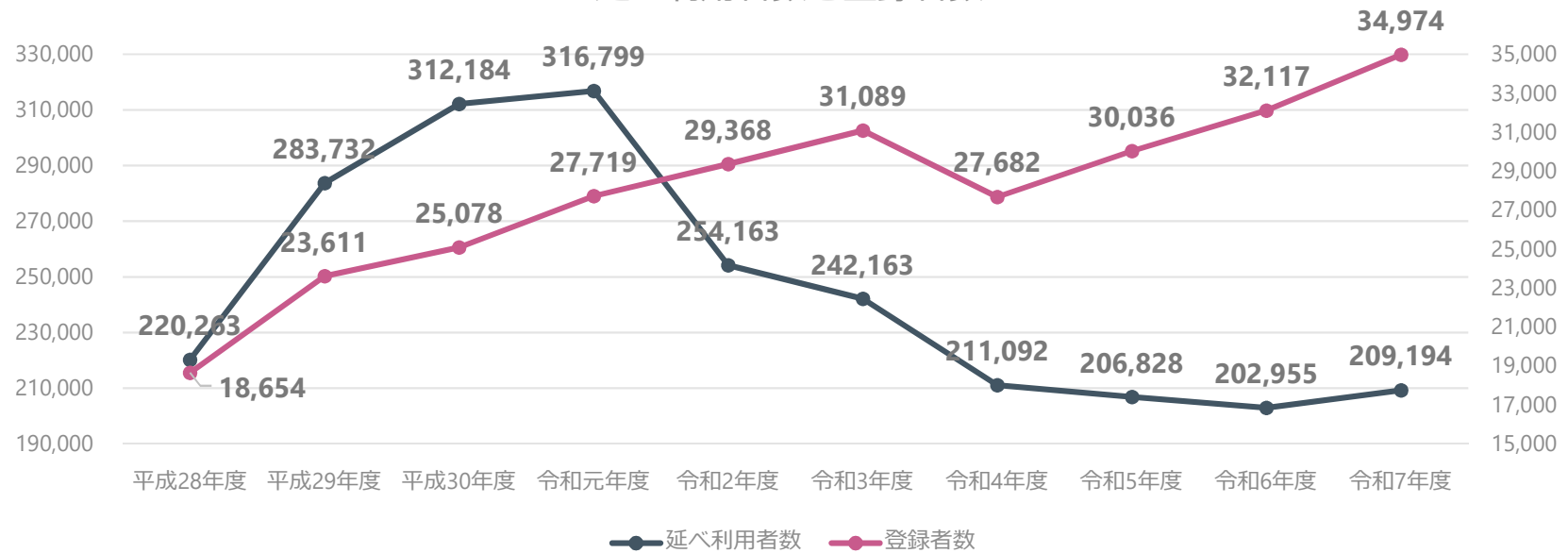
アンケート用紙を返送または二次元コードによりWeb回答

【調査項目】

利用目的、移動距離、制度の効果、改善要望など



延べ利用者数と登録者数



※登録者数
 平成28年度～平成29年度：紙利用券登録者
 平成30年度～令和3年度：紙利用券登録者＋マイナンバーカード登録者
 令和4年度～：マイナンバーカード登録者

【支援金額】

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
支援額	133,486	172,410	191,571	197,921	161,524	153,640	136,511	138,597	145,364	159,291

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用が減少。
 令和3年度は、利用可能回数の縮小により減少。
 令和4年度は、1人あたりの利用回数等が減少。
 令和5年度は、タクシーの運賃改定等より支援額が増加。
 令和6年度は、1運行で2回利用を可能にしたことにより支援額が増加。

3 利用促進と担い手確保

令和7年12月に実施された公共交通シンポジウム内の高校生発表で提案された「路線バスにおける行先表示の細分化」をもとにJR前橋駅北口バスのりばの各のりばに目的地別の路線案内を整備した。

整備詳細

- 路線図を掲出した看板の上部へ各のりばへの経路を色別に表示。
- 各のりばの壁面に主な目的地別に路線を整理した一覧表を掲出。
(目的地としては学校や病院、大型商業施設を選定)

のりば 6 方面 北部方面		のりば 5 方面 西部方面 本町ライン	
運行路線		進行路線	
47 新前橋駅西口線	48 前橋赤城山線	11 前橋高崎線(芝草経由)	13 前橋高崎線(京目経由)
51 青柳富士見線	53 萩原公園線	12 前橋吉岡線	25 前橋金古王塚台線
	54 嶽公園線	27 前橋箕郷線	26 前橋土屋文明線
			46 大蓮町線
50 富士見温泉線		28 イオンモール高崎前橋線	

主な目的地	路線番号	主な目的地	路線番号
県立前橋高校 Gunma Prefectural Maebashi High School	53 41 (4車のみ)	群馬県庁 / 前橋市役所 Gunma Prefecture Government Office / Maebashi City Hall	27 全線全路線
市立前橋高校 / 前橋合同庁舎(県) Maebashi Municipal High School / Maebashi Joint Government Building	50 54	前橋西高校 / しんとう温泉 Maebashi-Nishi High School / Shin-to-u Onsen (Ghata Spa)	18
富士見温泉 Fujimi Onsen (Fujimi Spa)	50 51	群馬総社駅 Gunma Sotetsu Sta.	18
前橋市総合福祉会館 / 県立県民健康科学大学 Maebashi Welfare Center / Gunma Prefectural College of Health Sciences	53	群馬工業高等専門学校 National Institute of Technology, Gunma College	26
萩原公園(アジサイの丘) / あいのやまの湯 Ogihara Park / Aoyama no Yu (Aoyama Spa)	53	前橋育英高校 / 済生会前橋病院 Maebashi Eihei High School / Seiseikai Maebashi Hospital	13
赤城山 / 赤城大沼 Mt. Akiyama / Akiyama Onsen	48 (直通) 50 (富士見温泉駅乗り継ぎ)	群馬中央病院 Gunma Central Hospital	11 13
群馬大学附属小学校 Gunma University Elementary School	50 51 53 54	フォレストモール前橋 / 日高病院 Forest Mall Shin Maebashi / Hidaka Hospital	11
前橋商工会議所 Maebashi Chamber of Commerce and Industry		老年病研究所附属病院 Geriatrics Research Institute and Hospital (Senen Hospital)	19 28 47 (各のりば)
嶽公園 Mine Park	54	るなばあく(中央児童遊園) / 臨江閣 Runabaku (Central Children's Playground) / Rinko-kan	18 47 (各のりば)
老年病研究所附属病院 Geriatrics Research Institute and Hospital (Senen Hospital)	47 19 28 (各のりば)	イオンモール高崎 AEON MALL Takasaki	28
るなばあく(中央児童遊園) / 臨江閣 Runabaku / Rinko-kan	47 18 (各のりば)	新前橋駅 / 高崎駅 Shin Maebashi Sta. / Takasaki Sta.	11 13
群馬県社総合ビル Gunma Kenkyu Seisaku Building	47 19 28 46 (各のりば)		

各のりば別案内



駅前路線案内

市内バス交通の利用促進、高校生の自転車事故の減少及び保護者の負担軽減を目的として、令和7年8月から事業開始。

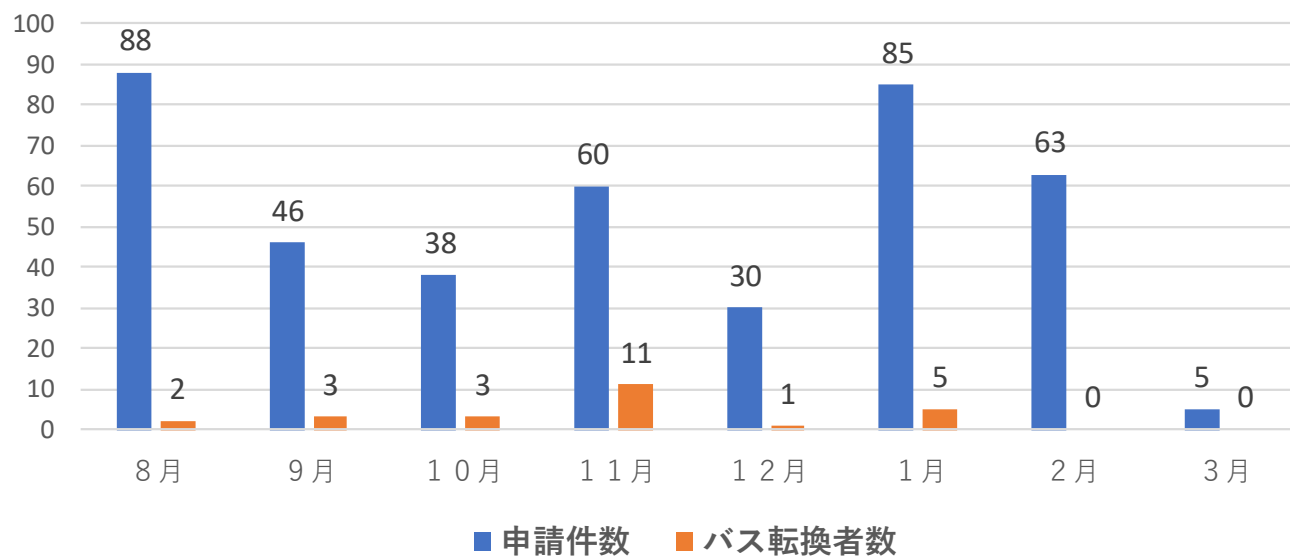
対象者：前橋市在住の高校生世代で学校教育法第1条に定める学校に通う者。

対象路線：路線バス運行事業者6社30路線（市外での乗降も含む）

支援内容：対象路線のバス通学定期券購入金額の2分の1を支援する。

周知方法：市内の高校へチラシ配布、各SNSへの投稿、中学生向けのバス教室

高校生定期奨励金申請件数



チラシ

- ・すでに実施している「鉄道乗り方学習」や「バス乗り方教室」の実施校を拡大する。
- ・教材などを整備し、今後も継続して実施できる体制を構築する。

①鉄道乗り方学習

- ・市内の小学2年生を対象に、「生活科」の授業の一環として実施。
- ・各校の所在地や希望に応じて、JR前橋駅・JR新前橋駅・上毛電鉄で実施。
- ・鉄道に親しんでもらうとともに、切符の買い方、駅やホームでのマナーなどを学ぶことを目的とする。

【令和7年度】JR 7校 上電11校 【令和8年度】JR9校 上電12校

②バス乗り方教室

- ・市内の中学3年生を対象に実施。
- ・バスの乗り方や路線図の見方などを学んでもらうとともに、公共交通の現状を講義する。
- ・バスに親しんでもらうとともに、高校進学後のバス利用促進を目的とする。

【令和7年度】2校 【令和8年度】2校（他3校調整中）



課題

- ・教材などはなく、講師を担当するJR・上電駅員や市職員への負担が大きくなっており、継続して統一した内容での実施が難しい現状がある。
- ・申し込み側の学校は、実施内容の具体的なイメージがしづらく、実施希望校が固定化されている。

→継続して実施していくとともに、教材の整備などを進めていきたい。

■概要

上電設立100周年を記念して、イベントを開催するもの。イベント詳細は調整中となります。



1 100周年記念式典（秋のイベント：大胡車庫内） 10月18日（日）

100周年を祝う空気の創出とジョモネコの認知度向上。ジョモネコの着ぐるみ発表も兼ねます。式典をメインに据え、付属するイベントで賑わいを補完します。

2-1 運賃無料デー 10月31日（土）

始発から終電まで、終日運賃を無料にします。

100周年の感謝を伝えるとともに、普段利用していない層に上電を体験してもらう機会を創出し、今後の利用増加に繋がります。

2-2 上電スタンプラリー 10月31日（土）

運賃無料デーによる移動ハードルの低減に加え、「移動の目的」を創出します。

スタンプを主要4駅に設置。集めたスタンプと景品を交換いただきます。

また、スタンプ設置駅において、マルシェやワークショップなどを検討中です。

スタンプ設置予定駅（案） ※設置箇所については増減する可能性有



交通事業者においてドライバーの担い手不足や高齢化によりサービス水準の維持が困難な状況となっていることから、市と交通事業者で連携しドライバー合同説明会を開催し、サービス水準の確保及び充実を図る。

バス (市内6事業者で合同開催)

**前橋市路線バスドライバー
6社合同説明会開催中**

社会の変化とともに公共交通・特にバスの重要性が再注目されています。前橋市は車社会ではありますが、その注目に応えてバスを充実させるべくバス会社が市と連携してさまざまな取組を行っています。ぜひバスドライバーになって地域貢献を仕事にしてみませんか？

服装自由 **未経験者歓迎**

**社会貢献を仕事にできる！
参加詳細は二次元コードから**

バスドライバーの仕事内容
前橋市内を中心とした路線バスの運転。車両は小型・中型など小さめの車両がメイン！出勤場所となる営業所は前橋市内を中心として、高崎市・渋川市等にも営業所がある会社もあります。

資格要件
要普通免許、大型二種免許優遇
そのほか年齢・学歴・経験は不問
★二種免許取得制度で未経験でも安心！
研修制度が充実しています。※各社規定あり



【合同説明会チラシ】

**群馬県バス協会主催
バスドライバー
合同就職説明会**

LOCATION
前橋市野中町222-1
群馬県交通運輸総合センター2階研修室

SCHEDULE
毎月2日、毎月13日～16日
※平日午前中は業界一斉休業のため
10月 9日(日) 16日(日)
11月 6日(日) 13日(日)
12月 11日(日) 18日(日)
1月 15日(日) 22日(日)
2月 5日(日) 19日(日)
3月 5日(日) 19日(日)

APPLICATIONS
詳細、申込は「お問い合わせ」にてお申込みください。
※お問い合わせは「お問い合わせ」にてお申込みください。
※お問い合わせは「お問い合わせ」にてお申込みください。



【合同就職説明会チラシ】
(群馬県バス協会)

タクシー (市内9事業者で合同開催)

未経験者も大歓迎!!
女性も活躍中!

**前橋市タクシードライバー
合同説明会を開催します**

- 各タクシー会社の説明を一度に聞けるチャンス!
- その場で面接も可能! 話を聞くだけでも大歓迎です!
- 両日の参加でも1日だけの参加でもOKです!

日程

① **5月9日(土)**
アサカタクシー、敷島タクシー、東洋タクシー、新和タクシー

② **5月23日(土)**
清水タクシー、赤城タクシー、ナガイタクシー、日本中央タクシー、県都第一交通

時間 10:00~12:00

場所 ①前橋市役所 議会棟3階303会議室
②前橋市役所 議会棟3階301会議室

仕事内容 前橋市内を中心としたタクシーによる送迎業務 (車両は事業者によって異なります)

資格要件 普通自動車1種免許
年齢・学歴・経験は不問
事業者によっては普通自動車2種免許取得支援制度があります!
未経験でも大丈夫! 研修制度が充実しています。



【合同説明会チラシ】

4 公共交通への 新たな価値の付加

- ・上毛電気鉄道の車両等に交通系ICユニットを搭載し、交通系ICカードでのサービスを実現
- ・地域連携バスユニットを採用することにより、自動改札機と比べて安価な仕組みでサービスを実装

利用方法

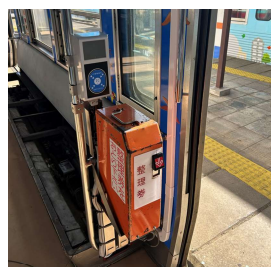
【無人駅】

→車内でタッチ

【有人駅】

→改札でタッチ

【車両設置機器】



乗車用

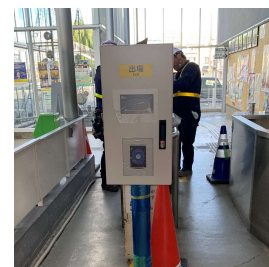


降車用

【駅設置機器】



入場用



出場用



交通系ICカードによるサービス

- ①交通系ICによるSF運賃決済
- ②交通系ICチャージ（車内・駅）
- ③nolbeでの通勤定期券販売

GunMaaSのサービス高度化

- ④GunMaaSでの定期購入・1タッチ認証
- ⑤GunMaaSでの1日フリーパス購入・1タッチ認証
- ⑥GunMaaS乗りトクパス（GunMaaSポイント）利用

効果

- ・市内における公共交通機関のすべてでIC化が実施され、利用者に対し、シームレスな移動体験の提供
- ・チケットが紙からIC化されることに伴い、交通事業者の事務負担が大幅に軽減
- ・利用実績がデータ化され、将来の効果的な交通再編に寄与

令和9年春より、GunMaaSはご当地Suica（現：モバイルSuica）のプラットフォームで提供予定
これにより

- ・約3,900万人のモバイルSuica会員が再登録不要でGunMaaSを利用可能
- ・出張や観光等で群馬県を来訪された方にも使っていただけるサービスとなり、より多くの方に使っていただけるサービスを目指す



※2025年12月の群馬県・JR東日本会見資料より抜粋

【これまでの取組】

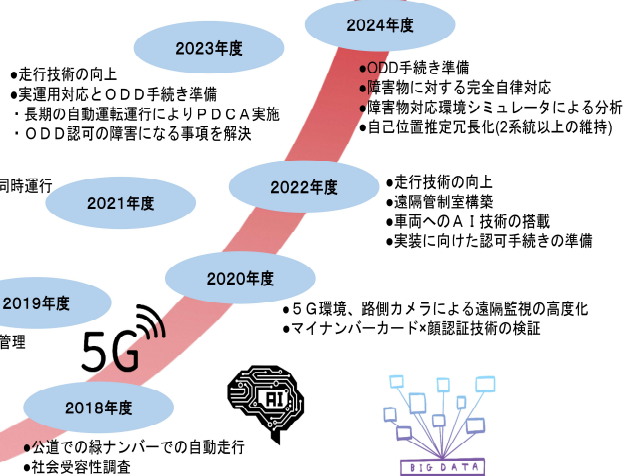
鉄軌道間の連結やバス運転手不足などの課題解決を目的に、前橋駅～中央前橋駅間の自動運転を実現するため、平成30年度から令和6年度まで毎年度、国補助を活用し、令和7年度末のL4実装を目指して実証実験を実施

令和7年度は国補助の補助率低下や自動運転システム開発事業者の事業停止等により事業実施を見送り



自動運転車両

- 5G環境での伝送速度の向上、2台同時運行
- 蓄積した課題の整理と対策検討



【国の方針等】

- 交通空白地域の解消を見据え、今後は小型モビリティ(タクシー等)の自律型・完全無人化の自動運転技術の支援強化に方針転換
- AI技術の活用により、今までの3Dマップ作成が不要になる。
- 国内自動車メーカーが自動運転車両生産に参入予定(令和9年度以降に量産化)



【本市の考え方】

- これまでの自動運転事業の成果や達成状況、実証体制や連絡調整の在り方等を総括する。
- 自動運転技術は今後の公共交通に必要な技術である。国の動向等を注視しながら、本市における自動運転の方向性を検討する。
- クリエイティブシティ構想における自動運転の運行について、引き続き群馬県と連携・協力し検討を進める。